

零相変流器の平衡特性 6

零相変流器の特性が悪い場合には、残留磁束の影響で遮断器が誤動作する場合があります。この様なことがないように、JIS C8371では下表のように不動作の限界を定格電流の倍数で規定しています。

テンパールの零相変流器は、いずれも表の数値以上の特性をもっておりますので誤動作はありません。

電動機の人-△起動等過渡突入電流の特に大きな負荷にはこの点を十分考慮する必要があります。

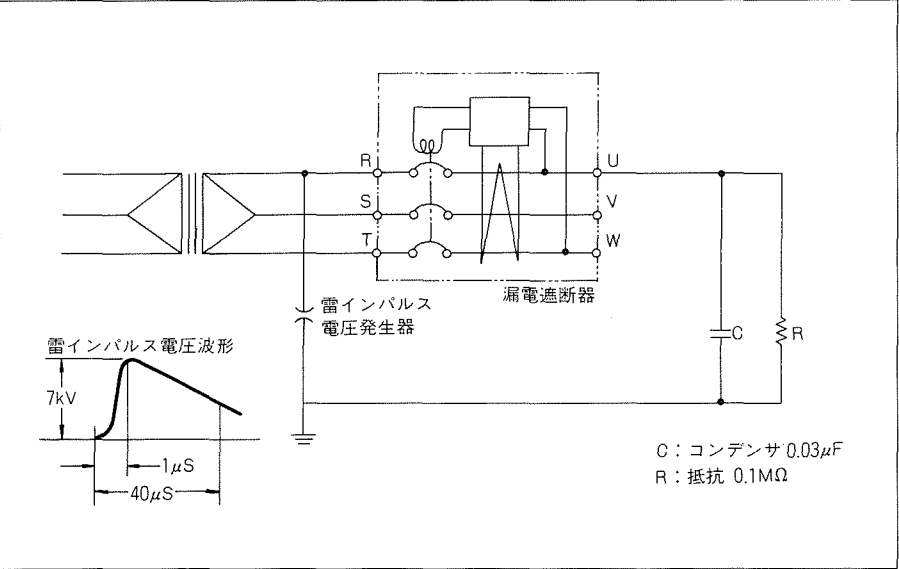
種 類	定格電流	試験電流
単相用	600A以下	定格電流の6倍(最小150A)
	600Aを超えるもの	定格電流から600を引いた値の2倍に3600を加えた値
三相用	50A以下	定格電流の8倍(最小150A)
	50Aを超え600A以下	定格電流の6倍
	600Aを超えるもの	定格電流から600を引いた値の2倍に3600を加えた値

雷インパルス不動作性能(衝撃波不動作性能) 7

全器種衝撃波不動作形ですので外雷の侵入や、誘導負荷の開閉サージ等で誤動作をすることがないように、強力な回路構成となっており安心してご使用いただけます。

JIS規格で決められている7kV、1×40μSの雷インパルスに対し十分耐える性能をもちております。

雷インパルス不動作試験回路(JIS C8371)●



開閉耐久性能

JIS規格では右表のように開閉耐久回数を決めています。テンパール漏電遮断器はこの性能を十分満足しております。

(詳細についてはJIS C8371を参照下さい)
テスト装置による開閉耐久は漏電検出回路に電圧を印加し、テスト装置で遮断器の引外しを行い投入は手動で行います。

JIS C8371 表6の抜粋●

定格電流	開閉ひん度 (回/分)	開閉耐久回数(回)			
		通 電	無通電	テスト装置	合 計
100A以下	6	6000	3000	1000	10000
100Aを超え225A以下	5	4000	3000	1000	8000
225Aを超え600A以下	4	1000	4000	1000	6000
600Aを超え800A以下	2	500	2500	1000	4000
800Aを超え1000A以下	1	500	1500	1000	3000
1000Aを超えるもの	1	500	1000	1000	2500

■三相 3 線式 3 極の漏電遮断器についての試験回数です。